



よく使う日本語

～してください。ありがとうございます。【丁寧語】

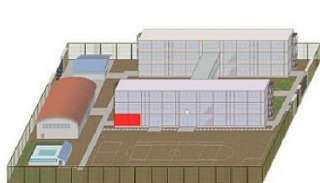
～なら、どんな気持ちですか？【感想】

基本的な流れ

指導のポイント

1 職員室に物を借りに行くスキルを練習して、実際に借りに行く。
(聞く・話す活動)

○生活科の学校探検と関連させることができる。先生に対するていねい語の練習としてもよい。職員室にいる先生に借りに行く話を事前しておく。



なにをしたらよくなる？

しょくいんしつ（職員室）
せんせいがた（先生方）がしごと（仕事）をしているところ。



「こどもの日本語ライブラリ」学校の施設紹介

T: 「職員室にペンを借りに行きます。」

T: 「何と言えばよいですか？」

S: 「失礼します。」

S: 「〇年〇組の〇〇です。」

S: 「ペンを貸してください。」

S: 「ありがとうございます。」

S: 「失礼しました。」

職員室入室のルールは、各学校のルールに合わせて練習しましょう。他に鍵を借りる時や〇〇先生に用がある時など場面を変えてみましょう。

2 友達に物を借りる・貸す・断るスキルを練習する。(聞く・話す活動)

○友達とのやりとりの場面を練習する。



T: 「友達にペンを借りる時は、何と言えばよいですか？」

S: 「ペンを貸して。」「ペンを貸してくれる？」

T: 「友達にペンを貸す時は、何と言えばよいですか？」

S: 「いいよ。どうぞ。」

T: 「友達にペンを貸せない時は、何と言えばよいですか？」

S: 「ごめんなさい。貸せない。大切なペンだから。」

※「だめ！やだ！」と言ったり、黙っているだけだったりでは、相手がどういう気持ちになるかを考えさせる。

3 自分の気持ちを伝えるスキルを練習する。(聞く・話す活動)

○言葉で自分の気持ちを伝える支援として、絵カードを使う。



T: 「だまってペンを使われたら、どんな気持ちですか？」

S: 「悲しい気持ちです。」

T: 「ありがとうと言われたら、どんな気持ちですか？」

S: 「うれしい気持ちです。」

※高学年以上は、

・「悲しい気持ちになるのは、どんな時ですか？
はずかしい気持ちになるのは、どんな時ですか？」
など、その状況を考えて答えさせる。